

(速報)消費生活相談の概要＜2025年4月～2025年9月＞

東三河広域連合消費生活相談センター・相談室

令和7(2025)年11月

令和7年度上半期(2025年4月～2025年9月)に寄せられた消費生活相談件数は、2,309件でした。前年同期と比べ、248件増加(約12.0%増)しています。一方、愛知県全体では約7.1%増、全国では約5.9%増となっています。

■相談者居住地別件数(表1-1)

構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分		豊橋市	豊川市	蒲郡市	新城市	田原市	町村※	その他	計
2025年4月～2025年9月		1,201	633	188	101	110	19	57	2,309
構成比(%)		52.0	27.4	8.1	4.4	4.8	0.8	2.5	100.0
前年4月～9月		1,071	502	197	74	122	13	82	2,061
対前年	件数(件)	130	131	△ 9	27	△ 12	6	△ 25	248
	率(%)	12.1	26.1	△ 4.6	36.5	△ 9.8	46.2	△ 30.5	12.0

※町村は設楽町・東栄町・豊根村の合計。その他は無回答。

■相談窓口別件数(表1-2)

構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分		総合センター	豊川センター	蒲郡相談室	新城相談室	田原相談室	計
2025年4月～2025年9月		1,558	705	25	12	9	2,309
構成比(%)		67.5	30.5	1.1	0.5	0.4	100.0
前年4月～9月		1,165	505	180	95	116	2,061
対前年	件数(件)	393	200	△ 155	△ 83	△ 107	248
	率(%)	33.7	39.6	△ 86.1	△ 87.4	△ 92.2	12.0

○相談者居住地別では、豊橋市、豊川市、新城市は増加し、蒲郡市、田原市は減少しました。

○相談窓口の体制変更(蒲郡・新城・田原を相談室とし週1～2日相談員が来所対応)により、総合・豊川センターへの相談は大きく増加しました。

○全体としては引き続きインターネット通販の相談が最も多く(543件→646件)、定期購入(220件→206件)も多数ありました。

インターネット通販・定期購入ともに、購入商品としては化粧品が最も多くて増加(113件→117件、126件→135件)、次に多い健康食品は、ともに減少(62件→51件、64件→54件)しました。また、電子広告(314件→392件)やSNS(225件→278件)、電話勧誘(167件→219件)をきっかけとする相談が増加し、そのうち、増加率が大きい電話勧誘の購入商品は、商品一般(32件→48件)、電報・固定電話(3件→26件)、インターネット通信サービス(12件→22件)の順となりました。

■相談者年代別件数(表2)

構成比合算は計と一致しない場合があります

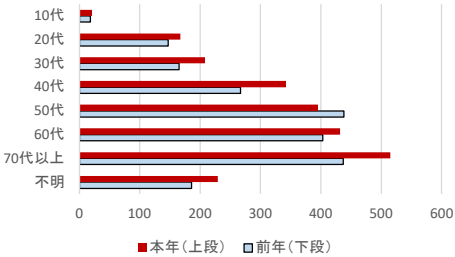
区 分		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計
2025年4月～2025年9月		21	167	208	342	395	432	515	229	2,309
構成比(%)		0.9	7.2	9.0	14.8	17.1	18.7	22.3	9.9	100.0
前年4月～9月		18	147	165	267	438	403	437	186	2,061
対前年	件数(件)	3	20	43	75	△ 43	29	78	43	248
	率(%)	16.7	13.6	26.1	28.1	△ 9.8	7.2	17.8	23.1	12.0

○相談者年代別では30代・40代が大きく増加し、50代は減少しました。

【内訳・詳細】

- ・「判断が不十分な方への契約」に関する相談は、34件で増加しました(前年28件)。
- ・「未成年者への契約」に関する相談は、21件で横ばい状態です(前年20件)。
- ・「心身障がい者への契約」に関する相談は、93件で減少しました(前年113件)。
- ・「SNS」をきっかけとする商品購入などの相談は、278件で増加しました(前年225件)。
- ・絶対儲かると言われて、デジタルツールを購入する「情報商材」関連の相談は、5件で大きく減少しました(前年14件)。

年代別相談件数(各年4月～9月)



■品目別相談件数(表3-1)

構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分	商品計 ①	商品のうち主なもの				サービス計 ②	サービスのうち主なもの				他の相談計 ③	計 ①+②+③
		商品一般	保健衛生品	食料品	教養娯楽品		金融・保険	運輸・通信	教養・娯楽	他の役務		
2025年4月～ 2025年9月	1,144	230	203	137	134	1,116	242	218	177	112	49	2,309
構成比(%)	49.5	10.0	8.8	5.9	5.8	48.3	10.5	9.4	7.7	4.9	2.1	100.0
前年4月～9月	1,056	266	180	135	141	955	242	122	157	146	50	2,061
対 前年	件数(件)	88	△ 36	23	△ 7	161	0	96	20	△ 34	△ 1	248
	率(%)	8.3	△ 13.5	12.8	1.5	△ 5.0	16.9	0.0	78.7	12.7	△ 23.3	△ 2.0

- ①商品計は、1,144件(前年比88件・8.3%)で増加しました。
商品分類では「商品一般」230件(前年比△36件・△13.5%)が最も多く、
次いで化粧品の定期購入に関する相談を含む「保健衛生品」が203件(前年比23件・12.8%)でした。
- ②サービス計は、1,116件(前年比161件・16.9%)で増加しました。
サービス部門では「金融・保険」が最も多く242件(前年比0件・0.0%)、次いで「運輸・通信」218件(前年比96件・78.7%)でした。

■商品等別相談件数(表3-2)

区 分(順 位)	1	2	3	4	4	6	7	8	9	10
2025年4月～ 2025年9月	商品一般	フリーロー ン・サラ金	賃貸 アパート	他の 健康食品	携帯電話 サービス	化粧 クリーム	役務その他 サービス	普通・ 小型自動車	光 ファイバー	金融関連 サービス
	230	104	68	61	61	59	58	47	45	44
前年4月～9月	266	126	44	48	29	49	64	33	29	23
対 前年	件数(件)	△ 36	△ 22	24	13	32	10	△ 6	14	21
	率(%)	△ 13.5	△ 17.5	54.5	27.1	110.3	20.4	△ 9.4	42.4	55.2

- ・最も多いのは、「商品一般」の230件(前年比△36件・△13.5%)で減少しました。
- ・次いで「フリーローン・サラ金」は104件(前年比△22件・△17.5%)で減少しました。
- ・「携帯電話サービス」は61件(前年比32件・110.3%)で最も大きく増加しました。
- ・「金融関連サービス」は44件(前年比21件・91.3%)で大きく増加しました。

■販売購入形態別相談件数(表4)

構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分	店舗購入	店舗外取引に関する相談					店舗外 取引計	不明・ 無関係	計
		訪問販売	通信販売	電話勧誘 販売	マルチ 商法	その他			
2025年4月～ 2025年9月	491	119	826	183	11	25	1,164	654	2,309
構成比(%)	21.3	5.2	35.8	7.9	0.5	1.1	50.4	28.3	100.0
前年4月～9月	464	142	706	122	14	29	1,013	584	2,061
対 前年	件数(件)	27	△ 23	120	61	△ 3	151	70	248
	率(%)	5.8	△ 16.2	17.0	50.0	△ 21.4	△ 13.8	14.9	12.0

- 店舗購入は491件(前年比27件、5.8%)で増加しました。
○店舗外取引は1,164件(前年比151件・14.9%)で増加しました。

【内訳・詳細】

- ・店舗購入の中では「普通・小型自動車」が最も多く38件(前年28件)で、
次いで「携帯電話サービス」が34件(前年16件)でした。
- ・店舗外取引では「通信販売」が最も多く、826件(前年706件)で、
次いで、「電話勧誘販売」が183件(前年122件)でした。
- ・「訪問販売」では「修理サービス」が最も多く14件(前年7件)で、次いで「役務その他
サービス」で8件(前年3件)でした。
- ・「通信販売」では「化粧クリーム」が最も多く54件(前年48件)で、次いで「他の健康食品」
が50件(前年46件)でした。
- ・「電話勧誘販売」では「商品一般」が最も多く29件(前年16件)で、
次いで、「光ファイバー」が20件(前年11件)でした。
- ・その他に含まれる「訪問購入」では「商品一般」と「ネックレス」が最も多く4件
(前年6件・4件)で全体として21件(前年25件)でした。

